

[協働事業の企画書概要]

<p>事業名</p> <p>事業主体</p>	<p>思春期・青年期の青少年たちが主体的に管理運営する「こどもの館」（仮称）づくり事業</p> <p>市民団体「共育ちプラザ～まんまの自分」</p>
<p>事業の概要</p>	<p>『どういう問題を解決しようとしていますか？』</p> <p>青少年が自主運営し、自由に活用できる「こどもの館」（仮称）をつくる。ここは市民の誰もがホットくつろげる居場所でもある。こども達の希望の実現は、あくまでも当事者が主体。「共育ちプラザ～まんまの自分」は、伴走的に支援。就労支援団体や外国籍支援団体などと連携。</p>
<p>どういう主体と協働するのがよいと考えていますか？</p>	<p>主体A：市民（青少年たち）</p> <p>主体B：市民団体</p> <p>主体C：行政</p>
<p>協働事業としてそれぞれの主体に何を期待していますか？</p>	<p>主体A：青少年が自主運営。誰もが集い憩う。</p> <p>-----</p> <p>主体B：こどもたちを支援。他の市民団体と連携。</p> <p>-----</p> <p>主体C：場所・設備・備品の設置・管理・維持</p>
<p>その他</p>	<p>第一段階（調査・PR）</p> <p>1ヶ月に1日終日児童館をこどもたちに開放。毎月会館を変えて、エリアの特性の調査と事例研修。</p> <p>青少年にPR。主体的な参加の呼び掛け。</p> <p>青少年達と居場所の企画書作成</p> <p>第二段階（「こどもの館」（仮称）づくりの実現）</p> <p>場所の確保</p> <p>集う青少年たちがルールづくり</p> <p>こどもたちが希望や夢を実現</p>